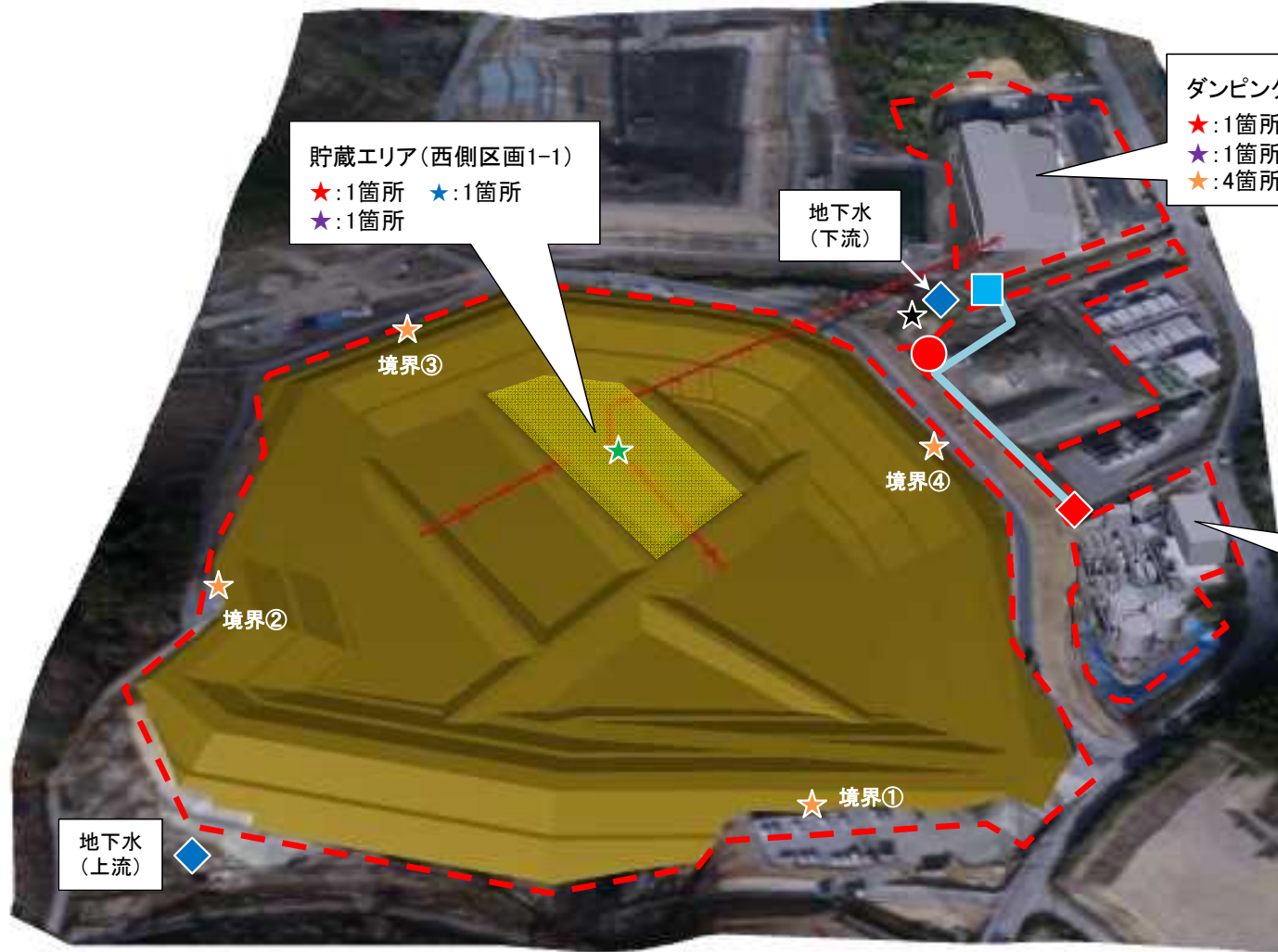
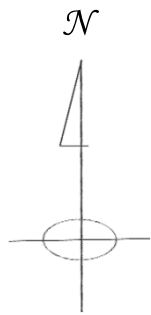


土壌貯蔵施設(双葉③工区)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



ダンプingtent
 ★:1箇所 ★:1箇所
 ☆:1箇所 ☆:1箇所
 ★:4箇所 ★:1箇所

貯蔵エリア(西側区画1-1)
 ★:1箇所 ★:1箇所
 ☆:1箇所

地下水
(下流)

フィルタープレステント
 ★:1箇所 ★:1箇所
 ☆:1箇所 ☆:1箇所
 ★:4箇所 ★:1箇所

地下水
(上流)

★:施設の位置



【凡例】

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質量
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ☆ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(床)
- ★ : 表面汚染密度(貯蔵エリア境界・壁)
- ★ : 表面汚染密度(設備)
- ★ : 表面汚染密度(重機)
- : 敷地境界線

土壌貯蔵施設(双葉③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年3月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日			
上流	2019/12/24 (稼働前)		18	8.1
	2020/3/12 (稼働後)		14	11
下流	2019/12/24 (稼働前)		22	7.8
	2020/3/12 (稼働後)		33	8.5

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/12/20 (稼働前)		ND
2020/3/13 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
2020/3/18		7.5	7.1	17	7

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/3/4 ~2020/3/31	40	0.0	0.5	ND	1170

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

沈砂池からの放流実績はないため測定なし。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/12/17 (稼働前)		ND	ND
2020/3/6 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2020/3/12 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングテント	0.5
フィルタープレセント	ND
ベルトコンベア落とし口	ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/3/12 (稼働後) 空間線量率 (µSv/h)
ダンピングテント	0.18
フィルタープレセント	0.13
貯蔵エリア西側1-1	0.74

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/3/12 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンピングテント	ND	ND
フィルタープレセント	ND	ND
ベルトコンベア落とし口	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0×10^{-7} Bq/cm³、セシウム137: 1.0×10^{-7} Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/ 2×10^{-3} + セシウム137の濃度/ 3×10^{-3} ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2020/3/25 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵エリア境界(西側)	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
ダンピングテント	壁	北側	ND
		東側	ND
		南側	ND
		西側	ND
ダンピングテント	床	ND	
	設備	ベルトコンベア	ND
	フィルタープレセント	壁	北側
東側	ND		
南側	ND		
西側	ND		
フィルタープレセント	床	ND	
	設備	フィルタープレス	ND
	貯蔵エリア西側1-1	重機	ブルドーザー
バックホウ	ND		
振動ローラー	ND		

表面汚染密度検出下限値: 0.57 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年2月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/12/24 (稼働前)	18	8.1
	2020/2/18 (稼働後)	16	11
下流	2019/12/24 (稼働前)	22	7.8
	2020/2/18 (稼働後)	89	13

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/12/20 (稼働前)		ND
2020/2/12 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
2020/2/18		7.6	1.3	10	4

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m ³)
		最小値	最大値		
2020/2/1 ~2020/2/26	24	0.0	0.1	ND	670

濁度管理値: 5以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質

沈砂池からの放流実績はないため測定なし。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/12/17 (稼働前)		ND	ND
2020/2/18 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2020/2/18 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
ダンピングテント	0.2
フィルタープレステント	0.3
ベルトコンベア落とし口	ND

定量下限値: 0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/2/20 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンピングテント	0.17
フィルタープレステント	0.13
貯蔵エリア西側1-1	0.65

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/2/18 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
ダンピングテント	ND	ND
フィルタープレステント	ND	ND
ベルトコンベア落とし口	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2020/2/20 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
貯蔵エリア境界(西側)	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
ダンピングテント	壁	北側	ND
		東側	ND
		南側	ND
		西側	ND
	床	ND	
設備	ベルトコンベア	ND	
	フィルタープレステント	壁	北側
東側	ND		
南側	ND		
西側	ND		
床	ND		
設備	フィルタープレス	ND	
貯蔵エリア西側1-1	重機	ブルドーザー	ND
		バックホウ	ND
		振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.56 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²

土壌貯蔵施設(双葉③工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年1月

◆地下水(井戸)中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
	測定日		
上流	2019/12/24 (稼働前)	18	8.1
	2020/1/29 (稼働後)	15	17
下流	2019/12/24 (稼働前)	22	7.8
	2020/1/29 (稼働後)	98	17

●地下水(集排水設備)中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/12/20 (稼働前)		ND
2020/1/15 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
	2020/1/31		7.3	3.2	6.5

pH基準: 5.8~8.6, BOD基準: 60mg/L, COD基準: 90mg/L, SS基準: 60mg/L

浮遊物質量(SS)のNDとは、報告下限値(1mg/L)未満であることを示す。

◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2020/1/20 ~2020/1/31	32	0.1	3.0	ND	639

濁度管理値: 5.0以下

放射性セシウム管理値: ND

NDとは、検出下限値(6.5Bq/L)未満であることを示す。

★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

沈砂池からの放流実績はないため測定なし。

■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/12/17 (稼働前)		ND	ND
2020/1/31 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値: 1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準: セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

★粉じん濃度

測定地点	2020/1/23 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m³)
ダンピングテント	0.2
フィルタープレステント	ND
ベルトコンベア落とし口	ND

定量下限値: 0.1mg/m³, 高濃度粉じんの下限値: 10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/1/23 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
ダンピングテント	0.18
フィルタープレステント	0.14
貯蔵エリア西側1-1	1.10

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/1/23 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm³)	Cs-137 (Bq/cm³)
ダンピングテント	ND	ND
フィルタープレステント	ND	ND
ベルトコンベア落とし口	ND	ND

放射能濃度検出下限値: セシウム134: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³, セシウム137: 1.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度: セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★貯蔵エリア境界・壁、★設備、★重機)

測定地点		2020/1/31 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵エリア境界(西側)	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
ダンピングテント	壁	北側	ND
		東側	ND
		南側	ND
		西側	ND
ダンピングテント	床	ND	
	設備	ベルトコンベア	ND
フィルタープレステント	壁	北側	ND
		東側	ND
		南側	ND
		西側	ND
フィルタープレステント	床	ND	
	設備	フィルタープレス	ND
貯蔵エリア西側1-1	重機	ブルドーザー	ND
		バックホウ	ND
		振動ローラー	ND

表面汚染密度検出下限値: 0.44 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度: 40Bq/cm²